

18. 症状および兆候

文献

佐藤君江, 江幡芳枝, 佐山静江. 褥婦に対する背部マッサージのリラックス効果に関する研究. *母性衛生* 2008; 49(3): 169. 医中誌 web ID 2009035542

1. 目的

背部マッサージが褥婦のリラクゼーションに及ぼす効果の評価

2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT または CCT)

3. セッティング

産婦人科

4. 参加者

産後 1 日目の褥婦 50 人、介入群 25 人、対照群 25 人 年齢は未記載

5. 介入

Arm 1 : ホホバオイルマッサージ群 (10 分) 25 人

Arm 2 : コントロール群 (10 分の安静臥位) 25 人

6. 主なアウトカム評価項目

血圧, 脈拍, 唾液アミラーゼ活性, ATAI 状態・特性不安検査

7. 主な結果

1) 血圧, 脈拍, 唾液アミラーゼ活性, STAI 特性不安スコアは群間に有意差なし。

2) STAI 状態不安スコアは群間に有意差有り。

3) 唾液アミラーゼ活性は両群とも低下。

8. 結論

産褥 1 日目の褥婦に背部オイルマッサージは STAI での状態不安の軽減効果がある。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

対象がきわめて貴重な研究であると思う。しかし、産後 1 日目の褥婦にリラックスが必要な理由および従来実施されているリラクゼーション法の提示がなされた上で、従来法・コントロールとの比較を行うべきであったと考える。50 名という対象者数を確保していることから研究デザインに工夫があると良かった。RCT と記載しているが各群のデータ提示があると良いと思う。背部のオイルマッサージについても具体的な手技等の記載が欲しい。結論では状態不安の軽減効果があるとしているが、リラックスと不安の関係についての前提が必要である。

11. Abstractor and date

徳竹忠司 2011.12.9